

# 令和7年度 授業改善推進プラン（4年）

台東区立金曾木小学校

教科	観点 課題と思われる観点に○	児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能  言語 言葉	・漢字の書き問題の正答率が低い。無回答は多くないが、誤答が多かった。	・漢字ミニテストの実施だけでなく、他の教科等でも日常的に漢字を使う機会を増やす。 ・自分の考えを書くときに、条件に合った文章が書けるように練習していく。	・漢字のテストで8割の児童が正答率80%を達成する。
	思考力・判断力・表現力  話・聞 書く	・グループでの話し合いの様子を読んで、登場している人物2人の発言をもとにルールを書く問題の誤答が多かった。問題の意図が読み取れていないのではないかと思われる。	・実際に話し合わせる時に、観点を明確にして考えさせたり、他の子の意見をくみ取らせたりする。	・毎週のテーマ作文の課題で、自分の気持ちや考えを入れ、条件に合った文章が書けるようにする。
	学びに向かう力、人間性等			
社会	知識及び技能	・思考に必要な社会科基礎用語の定着が難しい。	・児童の自由な調べ学習の中でも、指導者がキーワードをしっかりと押さえるとともに、用語を覚えられるような作業を伴う活動を設ける。	・ワークテストで8割の児童が知識・技能の正答率90%を達成する。
	思考力・判断力・表現力	・日常生活における基礎的な知識が身に付いていない児童が見られる。また、学習内容を自分事として捉えられない児童がいる。	・最新ニュースを話題に取り入れたり、日常生活と社会科の学習を結び付けるような声掛けをしたりして意識付けをする。	・単元ごとに学習内容と自分の生活を結び付ける記述をさせ、自分なりの考えを書いたり発表したりできるようにする。
	学びに向かう力、人間性等			
算数	知識及び技能  数・計 図形 変・関 デ活	・分数の数直線上での表し方についての理解が低かった。分数の意味やその表し方への理解が不十分なために誤答となっている。 ・時刻と時間において1分=60秒の関係の理解が乏しい。「分」に換算する計算に課題がみられる。 ・割り算の余りを切り上げて答えを求めかつ、その理由を説明することが難しい。割り算で求めた数が何であるかを理解しているものの、記述で問われると適切には答えられない。	・分数の意味や線分図についての理解を復習するとともに、その表し方について考えられるような課題を出す。  ・秒を分へ換算する等の問題を繰り返し出し、関係や解き方を理解させる。  ・文章に当てはめて解答するパターンの問題に取り組ませる。何について聞かれているのか、文章の意味に注目させる。	・ベーシックドリルで90%以上を7割の児童が達成する。  ・ベーシックドリルで90%以上を7割の児童が達成する。  ・ワークテストの文章問題の正解率60%以上の児童8割を目指す。
	思考力・判断力・表現力  数・計 図形 変・関 デ活			
	学びに向かう力、人間性等			
理科	知識及び技能	・電池の働きや月と太陽に関することなど、既習内容の定着が不十分である。	・全学年の復習の時間を確保した上で、計画が必要。3年の内容を押さえる。	・ワークテストで7割の児童が知識・技能の正答率90%を達成する。
	思考力・判断力・表現力	・理科の用語を文章に当てはめ、適切に使うことができず、言わんとしていることは何となく把握できるが、正確ではない。 ・結果は記録できるが、結果から言えることが記述できない。  ・予想を立てる時に、実生活と結び付けて考えることに乏しい。	・教師側で限定して事象を提示し、どこに着目するかを前もって伝えるようにする。 ・用語の内容、意味を丁寧に押さえ、文章の中での使い方を示す。例文に触れさせる機会を多くもつ。 ・そもそもなぜこの実験を行っているのかを問い合わせ、適宜、問題に戻るようにする。 ・日常生活と理科の学習を結び付けるような声掛けをして意識付けをする。	・ベーシックドリルで90%以上を7割の児童が達成する。
	学びに向かう力、人間性等			・単元ごとに学習内容と自分の生活を結び付ける記述をさせ、自分なりの考えを書いたり発表したりする。